

シルクロードの魅力と 仏教伝来の古跡 ・・・旅の思い出

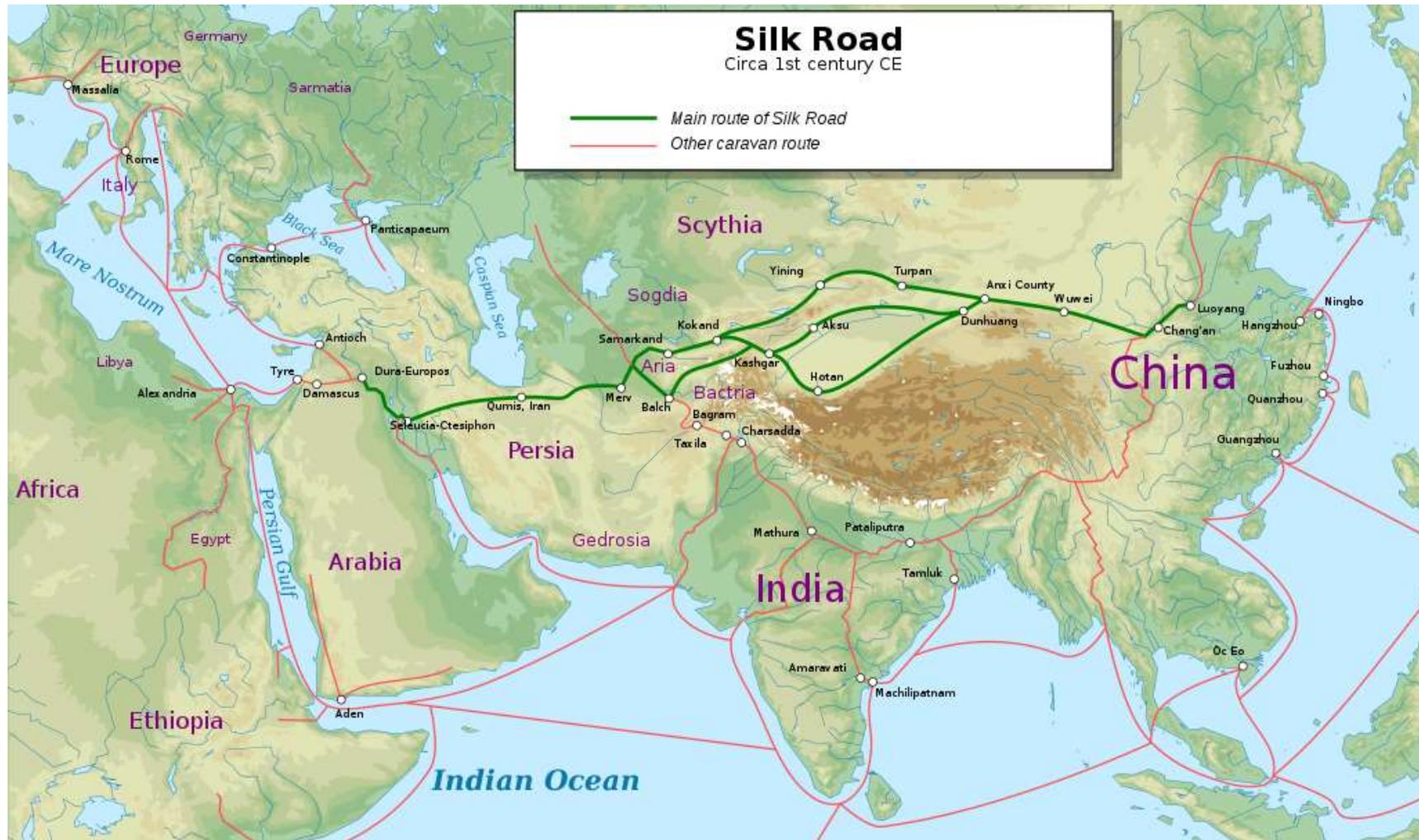
関西蔵前懇話会

令和2年9月10日

蔵前工業会大阪支部 坂本洋一

シルクロードとは

- ・ リヒトホーフエン(ドイツの地理学者)
1877年に著書「中国」で初めて使用
Seidenstraße > Silk Road > sichou zhi lu
- ・ 狭義のシルクロード
東トルキスタン(現新疆ウイグル自治区)の
西域南道、西域北道(天山南路)を念頭
 - ・ 日本人のイメージ 砂漠、ラクダ、三蔵法師欧州からはトルキスタンの東、漢人からは西域
- ・ 広義のシルクロード
東西交流(人、物流、文化)の主幹線
西はギリシャ、ローマ、シリア、ペルシャ、ロシア、インドまで



THE SILK ROAD PROJECT BUYUK IPAK YOLI BOYLAB



シルクロードと仏教伝来の道



シルクロード & 仏教伝来

歴史上の人物(1)

- 法顕(337?-422?)
65才で長安出立。楼蘭(鄯善)、を経てインド入り
海路帰国時は77才 ▪ 法顕伝(仏国記)
- 鳩摩羅什(344-413)または(350-409)
亀茲国(クチャ)王族、父はインド僧。
カシミールに遊学。
長安に招かれ、草堂寺で大量の仏典(300巻)を漢訳。
・・・旧訳

シルクロード & 仏教伝来

歴史上の人物(2)

- 玄奘三蔵(602-664)
洛陽近郊出身。629年、許可を得ず出国。
高昌国(トルファン)王の支援を得、
天山南路途中から天山北路、タシケント、
サマルカンドからヒンドゥークシ山脈越えインド入り。
ナーランダ大学で仏典を学ぶ。帰路は西域南道。
645年帰国。経典657部と仏像。
大慈恩寺にて訳経。 ……新訳
652年大雁塔完成、経典保存。
 - 大唐西域記

インドの仏教遺跡(1)

仏陀の歩み

- ルンビニー(生誕) ・・現在はネパール
釈迦族の王子ゴータマ・シッダールタ(BC463?)
- ブッダ・ガヤ(成道)
菩提樹の下で覚りを開き、ブッダ(覚者の意)と成る。
- サールナート(説法)
初転法輪の地、ワナーラシ郊外、初の説法
- クシナガル(入滅)
沙羅双樹の下、80才で入滅

インドの仏教遺跡(2)

大乘仏教 龍樹の丘

- ナーガルジュナ・コンダ
ナーガルジュナ(龍樹)の丘
ハイデラバードの東
- 龍樹菩薩伝・・・鳩摩羅什漢訳のみ
インドにナーガルジュナに関する原典無し
・・・鳩摩羅什の創作では？
- マンセル遺跡(南天鉄塔)の発見 ➡ 實在
ナーグプルの北東、佐々井秀嶺師発見

インドの仏教遺跡(3)

大乘仏教 ナーグプル

- 初代インド法務大臣アンベートカル
1956年 ガンジー首相の下、
不可触民の仏教への集団改宗(約50万人)
- 佐々井秀嶺師
インド国籍取得、インド仏教界最高指導者の一人
ナーグプルにて現在も活動中
第二のアンベートカル
毎年数十万人の集団改宗

最後に

- シルクロードの要所、仏教伝来の聖地が紛争地帯
 - カシミール西部 インド対パキスタン
 - カシミール東部(ラダック) インド対中国
- 新型コロナウイルス
インドが米国を抜いて世界最大の感染国に

仏の救いを